



統治機構を変える、体制を変える。

権限・財源を今の権力機構（体制）から、住民へ取り戻します。

議会改革

1 大阪市会基本条例案

開かれた議会。議員が予算編成に関与。

- 休日・夜間の議会を開催し、市民による議会活動への参加の機会を。
- インターネット中継などを利用し、情報公開を徹底。
- 市民の声を届けるため政策立案機能を強化。
- 市民に分かりやすい議会や委員会に。
- 広く市民の意見を聞くために委員会で参考人制度を積極的に活用。
- 市長は重要な計画、政策、事業等を掲げる際は議会に根拠やコストを説明。

議員同士の活発な議論を

私たち市民がチェック

▶ 他会派の反対で否決されました

市役所改革

2 大阪市職員基本条例案

市民からの信頼を取り戻し、市民のための組織に。
～能力・実績型の人事制度を導入～

- 能力、実績、情熱のある若手職員も抜擢。
- 職員評価を明確にし、組織を活性化。
- 民間企業の給与水準の実現。
- 市役所OBの外郭団体等への天下りを廃止し、外郭団体を全廃。



やる気アップ
UP!!



▶ 他会派の反対で否決されました

教育改革

3 大阪市教育基本条例案

子供たちの未来のために大阪市の教育を再生

- 保護者や地域住民が参画できる学校へ。
- 教育水準向上のために学校選択制を導入。
- 校長の権限を強化し、地域の教育ニーズに合わせた特徴ある学校を実現。
- 校長を公募制とし、やる気のある若い教員や民間人も登用。
- 指導力不足の教員に対する再教育プログラムの確立。

市民の意見を教育システムに反映

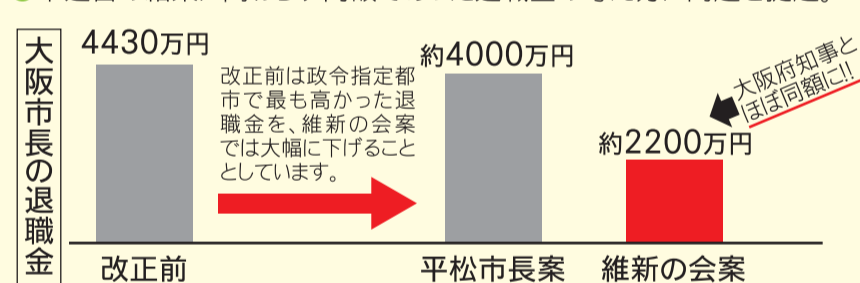
▶ 他会派の反対で否決されました

行政改革

4 市長等に対する退職手当の額の特例に関する条例案

市長・副市長の退職金を半減

- 市長/副市長の退職金を下げることで、行政コストを削減。
- 大阪府が財政運営の厳しい団体であるということを再認識していただく。
- 市運営の結果に関わらず同額であった退職金の考え方に問題を提起。



▶ 他会派の反対で否決されました

市民サービスの向上

5 住民基本台帳カードの利用に関する条例案

コンビニで証明書発行が可能に

- 住基カードを使って全国のコンビニで住民票や印鑑証明書などの証明書発行が可能に。

市民サービスを もっと身近に

▶ 他会派の反対で否決されました

子育て支援

子どもたちが元気にすごせる環境。

所得制限無しで、**中学校卒業までの通院・入院の医療費無償化**

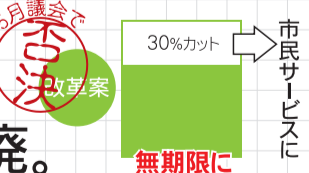
議会改革 議員定数の適正化による議会改革。

現在の86名から69名へ、議員定数を大幅削減。



議会改革 改革の第一歩は議員自身から。

議員報酬を30%カット。現行の時限的措置を撤廃。



公明党・自民党・みらい（旧民主党）の反対により、上記条例案は否決されました。
大阪を再生できるのは大阪維新の会だけです!!